



# 福岡公民館だより1月号



発行：ふくおかまちづくり協議会 福岡公民館 TEL72-2144



あけまして おめでとう ございます  
令和4年が 皆さまにとって  
良い年でありますように  
心から お祈り申し上げます



福岡公民館職員一同



## ふるさとの自然、文化、歴史に目を向けてみよう

令和5年(2023年)4月に新ふくおか小学校が福岡中学校の隣に建設されます。着々と統合へ向け準備が進められています。新しい小学校の教育目標は「ふるさとを愛する子 ～やさしく かしこく たくましく」です。この機会に後世に伝える「ふるさとふくおか」を考えてみませんか。



この地域には、南北に流れる付知川があります。青川とも呼ばれ、春にはアマゴ釣り、夏には鮎釣りをする人がいます。まわりを見渡すと、西に二ツ森・岩山、北に三界山、東に東山がそびえ、春にシデコブシ、初夏にはヒトツバタゴの白い花が咲き、秋にはハナノキやドウダンの紅葉も見られ、自然がいっぱいです。

春・夏・秋には、各地域の神社のお祭りがあり、明治の頃から続く常盤座では、地歌舞伎の伝統文化も継承されています。また、福岡町時代に新しく始まった太鼓も、下野庚申太鼓・鼓道・清流太鼓の3団体が活動しており、これらはこの地域ならではの文化です。

歴史は、縄文時代から始まり、南北朝時代の南朝伝説、室町時代の広恵寺城と続きます。戦国時代には付知川が戦場となったり、江戸時代には名古屋城築城のための木材を付知川で運んだりしました。また、地形が河岸段丘のため、昔から水には苦勞してきました。



そのため高台に水を送るには、ため池や井水・用水を作り、稲作をしてきました。特に、付知川右岸用水建設は、この地域最大の国営事業として12年という長い年月をかけて完成しました。この事からも、「森と水に育まれてきた歴史」がわかります。

福岡公民館では、今後皆さんと一緒に「ふるさと学習」に取り組んでいきたいと思ひます。

福岡公民館長 杉江良基

## はがきコンクール 作品展示のお知らせ

期間 令和4年1月7日(金)  
～1月13日(木)  
場所 福岡公民館ロビー

「はがきコンクール」は、「あなたへ贈る一冊」というテーマで、はがきにおすすめの本を絵や文で紹介するイベントです。

このコンクールに応募された各学校の皆さんの作品を展示します。

お気に入りの本と出会えるかもしれません。ぜひ、ご覧ください。

## 「家庭の日」には家族でかるた

岐阜県では、昭和42年(1967年)に「岐阜県家庭の日を定める条例」を定め、毎月第3日曜日を「家庭の日」とし、家族の絆や家庭の大切さを啓発しています。今年度も、新しい年の出発にあたる1月を強調月間と位置づけて、「家庭の日」の普及に取り組んでいます。



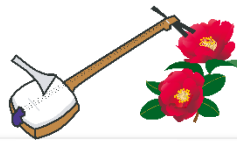
福岡公民館では、「中津川市郷土かるた」の貸出を行います。各家庭で楽しんでみてはいかがでしょうか？

また、「中津川市郷土かるた」には、田瀬区、下野区、福岡区、高山区にゆかりの句が一句ずつ入っています。

## 2年ぶりに開催した常盤座演劇フェスティバル



【劇団夜明け】



【劇団はなの木】



【劇団なんじゃもんじゃ】

コロナ禍で、昨年度は中止になり、今年度も一度延期しましたが、常盤座で(12月18日～19日の2日間)「常盤座演劇フェスティバル」を開催することができました。

多くの観客のあたたかい拍手の中、出演者の熱演が続きました。

## 地域に根ざした公民館を目指して

公民館では、「100歳の母・片田たつ美さんの短歌と子の片田博さんが撮影した写真」のコラボ展が、ウィンドウギャラリーにて開催されました。公民館玄関横では、福小5年生が育てた「お米の販売」が行われ、多く皆さんが来場されました。

上記のように、公民館を地域の皆さんに利用していただき、だれもが集える場所となるよう、地域に根ざした取り組みを大切にしていきたいと思ひます。

【ウィンドウギャラリー展示のお知らせ】

水墨泉会の皆さんによる、『今年の干支～寅』をテーマにした作品が展示されます。期間は、令和4年1月10日(月)～1月24日(月)までです。ぜひご覧ください。



「短歌と写真のコラボ展」